

## 12月18日（水） 国相手の裁判傍聴と 報告・交流会にご参加を

### ★12月18日（水） 国相手の大飯原発運転停止裁判

14:00～ 大阪地裁202号大法廷

※集合 13:40 202号大法廷前

傍聴は、原告に限らず参加できます。100名の傍聴席です。

規制委員会は再稼働審査を急ピッチで進めています。遅れを挽回するため「早く資料を提出せよ」と規制委員会側がわざわざ催促し、これまでの取り決めに反故にして更田委員が出席できなくても、規制庁職員だけで審査会合を開いています。その内容たるや、地震時の誤作動を防ぐために、中央制御室に手すりをつけるよう求める等です。

肝心の地震動の過小評価問題（武村式による4.7倍問題）等は棚上げにして、議論しようともしていません。年明けの1～2月頃には、許可を出そうとしています。

裁判で国は、12月11日に第3準備書面を出しました。新基準に基づいて、原告主張に対する認否をしたものです。書面では「大飯3・4号の安全性は、審査中」と繰り返しています。「今後・・・新規基準の概要等について主張した後・・・審査状況を踏まえつつ」反論等を行うとしています（準備書面のラスト）。まだこれから新基準の概要を説明するなど、裁判の引き延ばしをはかる国を厳しく監視していきましょう。

#### ★報告・交流会・法廷終了後（中之島中央公会堂 大会議室）

◇ゲスト：

石丸初美さん（佐賀：玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会代表）

大野恭子さん（愛媛：原発さよなら四国ネットワーク）

うのさえこさん（福島から京都に避難：原発事故被害者の救済を求める全国運動／  
原発事故子ども・被災者支援法京都フォーラム）

◇報告・交流会の内容

- 弁護団からの法廷内容の報告と質疑
- 佐賀・伊方の運動の状況等について、ゲストからのお話
- 再稼働の問題点（地震動の過小評価等）と避難計画の問題点  
各地での自治体への申し入れ結果を踏まえて、ゲストを交えて意見交換
- うのさんのお話と議論  
支援法の具体化、政府の20mSv 帰還政策の問題点等について

◇国が12月11日に出した書面はこちらにあります。

[http://www.jca.apc.org/mihama/oisaiban/gyouso\\_hikoku\\_junbi3\\_20131218.pdf](http://www.jca.apc.org/mihama/oisaiban/gyouso_hikoku_junbi3_20131218.pdf)

◇関電相手の仮処分裁判（大阪高裁）次回は2月6日（木）

